

作成したコンテンツ

作成したコンテンツと素材数

	授業	コンテンツ名	内容	使用枚数	既存枚数	作成枚数
高校	物理	高検理	干渉波	14	10	4
大学	物理Ⅰ	大検養	波動波	11	11	0
		大専門	干渉波	15	14	1
	物理Ⅱ	ニュートン		17	12	5
		ホウライ		29	13	16
レザ			43	28	15	
	偏光		21	0	21	

既存の素材を用いてコンテンツを構成することで
コンテンツ作成の際の労力が削減された

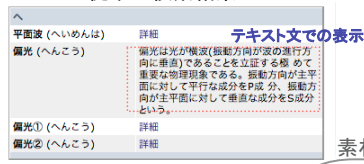
【システムの活用】

キーワード集の作成

キーワード集

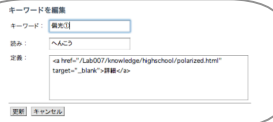


従来の検索結果



学生が用語から素材を表示できるようにリンクを作成
文章ではなく素材そのものを閲覧することが可能

素材データベースのパスを記述



現在データベースの素材96件中60件が
キーワードとして登録されている

素材そのものを閲覧

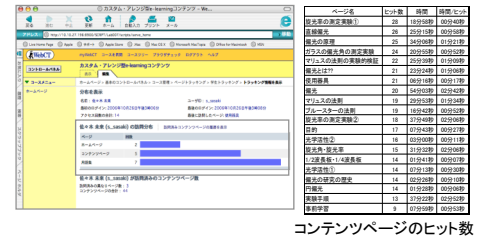
データベースにある素材を使用し最小限の
素材でキーワード集を作成可能

アクセス制限



学習履歴を用いたシステムの評価

学生トラッキング機能を利用し
◆最初・最後のログイン
◆アクセス回数の合計
◆最後に訪問したページ
◆訪問分布
を閲覧することができる



コンテンツページのヒット数

【eラーニングの実践とアンケート実施によるシステム評価】

対象: 物理学実験『偏光』を受講する大学2年生のグループ 12名

★実験授業の中で原理説明としてコンテンツを使用
☆実験後、レポート作成の際や原理の復習のために使用
★コンテンツはデータベースにあるさまざまな素材を用いて構築した

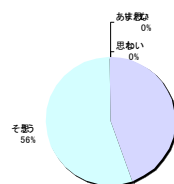
アンケート内容

- コンテンツは授業の内容に沿っていたか。
- キーワードを調べる事で欲しかった内容が得られたか。
- 他の授業において、今回使用したコンテンツ中の同じ素材を用いて授業を行うことはわかりやすいと思うか。
- 今後実験等でeラーニングを使用したいと思ったか。

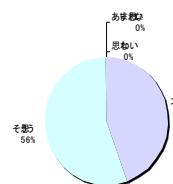
質問数: 18問

アンケート結果

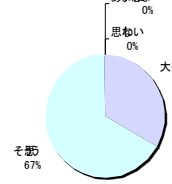
コンテンツは授業の流れに沿っていたか



他の授業において
今回使用した素材を用いて授業を行うことはわかりやすいと思うか



今後実験等でeラーニング
を使用したいと思ったか



アンケート結果より、システムの有用性を検証

本システムを用いたeラーニングによる学習は効果的であるといえる！！

【まとめ・今後の課題】

- 日本女子大学および附属高等学校における物理分野の一貫教育を支援することを目的とし、カスタムアレンジ可能なeラーニングコンテンツシステムを提案し、WebCTの機能を用いて構築した。
- 先行的運用として、大学学部の物理系実験においてコンテンツを作成し、eラーニングの実践とアンケートを実施した。
- アンケート結果より、データベースにある独立した素材を用いてコンテンツを作成しても授業の流れに沿っているという結果を得られた。
- 本システムにより作成されたコンテンツをさらに他の実験授業、または関連する授業の補助教材として学生に利用してもらい受講者や教員に対するアンケートを行い、システムの検証を行う。